

1. 奨学金制度の概要

(1) 奨学金給付内容について

- ① 支給額: 月額1万8千円(給付型奨学金であり、返済の必要はありません。)
- ② 毎月末日支給(月末が金融機関の休業日に当たる場合はその前日となります。)
- ③ 支給開始予定日: 2022年6月末日(6月末日は4月~6月分の計3ヶ月分を一括支給予定です。)

(2) 奨学期間: 支給開始年から在学課程最終年度末まで

(3) 募集人数: 3名を予定

(4) 他の奨学金制度との併給も可能です。

(5) 各校1名まで推薦可能です。

2. 応募資格

- (1) 学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学業の維持のために奨学金の給与が必要と認められる者。
- (2) 2022年4月時点で正規生として大学・大学院に在学する日本人学生を対象、所属学部・学科は不問です。
- (3) 東京都内での面接、またはスカイプ面接が可能な者とします。(6月初旬を予定)
- (4) 毎年年度末に、成績証明書、在学証明書または卒業証明書を提出して頂きます。
- (5) 当財団が開催する交流会へ参加して頂きます。開催する際は事前にご連絡させていただきます。遠方の方は交通費等負担のないよう配慮させていただきます。

3. 応募方法

(1) 必要書類

- ① 奨学生願書(当財団所定のフォーマット、写真添付必要)
- ② 在学学校長又は指導教授の推薦書
- ③ 在学証明書
- ④ 成績証明書(大学1年次生は、高校卒業時の成績証明書)
- ⑤ 所得証明書又は納税証明書(同一世帯分、別世帯で暮らしている場合は被扶養者分)
- ⑥ 健康診断書(直近1年以内に実施したもの)

(2) 受付期間

2022年4月4日(月)~2022年5月16日(月)

4. 選考方法

第一次選考の書類選考、第二次選考の面接を経た上で決定を行います。面接選考スケジュールについては、下記の通りの予定となっております。

2022年5月16日(月)	奨学生応募書類受付の締切
2022年5月27日(金)	各大学へ書類選考の結果連絡
2022年6月2日(木)、3日(金)、6月6日(月)	面接予定日
2022年6月17日(金)	最終選考結果の連絡、奨学生必要書類の配布
2022年6月30日(木)	奨学金支給開始予定

※応募に関する問い合わせは、各大学の担当窓口にお申し出ください。

※応募締切日までに健康診断書が間に合わない場合は、後日郵送で対応致します。

※対面面接の場所は、公益財団法人国土育英会事務所(東京都渋谷区神南1-12-14)を予定しております。

※面接の日程・時間については、2022年5月27日の書類選考結果の連絡時に、各大学のご担当の方へご連絡して、日程調整をさせて頂く予定です。

※最終選考結果及び奨学生採用の手続必要書類は、各大学のご担当窓口へ郵送いたします。その後大学経由もしくはご本人と直接連絡を取って、書類が揃った段階で奨学金の支給を開始する流れとなります。

※応募にあたって提出いただいた書類は、奨学生の選考及び奨学金給付の管理にのみ使用します。また奨学生に選考されなかった方の書類は当財団で破棄いたします。

以上

公益財団法人国土育英会
奨学金給与規程

令和3年1月18日施行

公益財団法人国土育英会奨学金給与規程

第1章 総 則

公益財団法人国土育英会（以下、「本会」という）定款第3条の規定に基づき、この規程を定める。

（奨学生の資格）

第1条 本会の奨学生は、次のいずれかに該当する者でなければならない。

- （1）日本の大学又は大学院に在籍する正規学生である日本人学生のうち、学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学業の維持のために奨学金の給与が必要と認められる者
- （2）修学・研究のために来日し、日本の大学又は大学院に在籍する外国籍学生のうち、学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学業の維持のために奨学金の給与が必要と認められる者

（奨学生の種類）

第2条 奨学生の種類は大学奨学生とする。

（奨学金の額及び給与期間）

第3条 この規定の第1条（1）の奨学生に給与する奨学金の額は、月額18,000円とし、第1条（2）の奨学生に給与する奨学金の額は、月額100,000円とする。
2 前項の奨学金を給与する期間は、正規の最短修業年限の終期までとする。

第2章 奨学生の採用と奨学金の交付

（奨学生の募集）

第4条 奨学生の募集は、毎年4月から5月にかけて行うものとする。ただし、理事会の決定により、臨時の募集時期を設定することができる。
2 奨学生の募集は、各大学の学生課を経由して行う。

（願書提出時の必要書類）

第5条 この規程の第1条（1）の奨学生志望者（日本人学生）は、次に掲げる書類を本会に提出するものとする。
（1）奨学生願書（本会所定様式あり、写真添付のこと）
（2）在学学校長又は指導教授の推薦書
（3）在学証明書
（4）成績証明書（大学1年次生は、高校卒業時の成績証明書）
（5）所得証明書又は納税証明書
（6）健康診断書
2 この規程の第1条（2）の奨学生志望者（外国籍学生）は、次に掲げる書類を本会に提出するものとする。

- (1) 奨学生願書（本会所定様式あり、写真添付のこと）
- (2) 在学学校長の推薦書
- (3) 在学証明書
- (4) 成績証明書（大学の直近の成績証明書を提出できない場合は、提出不要）
- (5) 収支調査書（本会所定様式あり）
- (6) 健康診断書
- (7) 在留カード写し

（奨学生採用の選考基準）

第6条 この規程の第1条（1）の奨学生志望者（日本人学生）のうち奨学生として採用する者は、次の基準を満たす者であることを要する。

- (1) 心身ともに健康であること
 - (2) 学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること
 - (3) 奨学生を扶養する世帯の総所得金額が600万円以下であること
 - (4) 特定の分野において、特に優れた資質能力があり、その資質能力を証明することができること
 - (5) 大学1年次生については、高等学校の成績証明書の評定平均値が4.0以上（5段階評価時）であること
 - (6) 大学2年次生以上については、前年時のGPAが3.5以上又は成績評価値の総合点が80点以上に準ずる成績であること
 - (7) 大学院生については、大学及び大学院における成績が優れ、将来、研究者又は高度の専門性を要する職業人として活動する能力があると認められること
- 2 この規程の第1条（2）の奨学生志望者（外国籍学生）のうち奨学生として採用する者は、次の基準を満たす者であることを要する。

- (1) 心身ともに健康であること
 - (2) 学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること
 - (3) 月額平均収入（仕送り）が月額平均支出を下回ること
 - (4) 特定の分野において、特に優れた資質能力があり、その資質能力を証明することができること
 - (5) 大学2年次生以上については、前年時のGPAが3.5以上又は成績評価値の総合点が80点以上に準ずる成績であること
 - (6) 大学院生については、大学及び大学院における成績が優れ、将来、研究者又は高度の専門性を要する職業人として活動する能力があると認められること
- 3 第1項又は第2項の基準を満たさない者であっても、同項の条件を総合的に考慮して、奨学生の候補者にふさわしいと判断される者については、奨学生として採用することができる。

（奨学生の採用）

第7条 本会の理事長は、この規定の第5条の書類を受け取ったのち、書類の内容を確認し、前条の基準を満たす者を選考する（以下、「一次選考」とする）。

- 2 理事長及び事務局長は、一次選考で選考された奨学生候補者と面談をした上で、選考基準の確認を行い、奨学生候補者の選考をする（以下、「二次選考」とする）。
- 3 奨学生選考委員会は、二次選考で選考された奨学生候補者の中からさらに奨学生として採用する者を選考する（以下、「最終選考」とする）。
- 4 最終選考で選考された奨学生候補者について、理事長がその採用を決定し、在学学校長

を経てその結果を本人に通知する。

- 5 奨学生として採用された者は、前項の通知を受けた日から、15日以内に署名・押印をした契約書を理事長あてに提出しなければならない。

(奨学金の交付)

第8条 奨学金は、毎月一定日に交付するものとし、特別の事情あるときは、複数月分の奨学金を合わせて交付することができる。

- 2 奨学金の交付は、銀行振込みによるものとする。

(学業成績及び生活状況の報告)

第9条 奨学生は、毎年度末、学業成績表及び生活状況報告書を理事長あてに提出しなければならない。

(異動届出)

第10条 奨学生は、次の各号の一に該当する場合は、直ちに届け出なければならない。ただし、奨学生が病気その他の事由により届け出ることができないときは、保証人が届け出るものとする。

- (1) 休学、転学若しくは退学したとき又は長期にわたって欠席しようとするとき
- (2) 停学、その他の処分を受けたとき
- (3) 氏名、住所その他重要な事項に変更のあったとき

(奨学金の休止)

第11条 奨学生が、次の各号の一に該当すると認めるときは、選考委員会の決定を経て、奨学金の交付を一時休止する。なお、交付を休止する時期は選考委員会で決定する。

- (1) 在学学校の休暇時期以外の時期に1か月以上日本を離れる場合
- (2) 一定期間、奨学金を必要としない理由が生じたとき
- (3) 前各号のほか、奨学金の支給を休止せざるをえない理由が生じたとき

(奨学金の廃止)

第12条 奨学生が、次の各号の一に該当すると認めるときは、在学学校長の意見を徴し、且つ選考委員会の決定を経て、奨学金の交付を廃止する。なお、交付を廃止する時期は選考委員会で決定する。

- (1) 本会与連絡がとれず、奨学金の銀行振込ができなくなったとき
- (2) 本会に無断で留学したとき
- (3) 傷い疾病などのため留年したとき、又は卒業の見込みがなくなったとき
- (4) 学業成績又は操行が不良のため留年したとき、又は卒業の見込みがなくなったとき
- (5) 1ヶ月以上の長期欠席が続いたとき
- (6) 休学又は退学したとき
- (7) 在学学校で処分を受け学籍を失ったとき
- (8) 奨学金を必要としない理由が生じたとき
- (9) その他第1条に規定する奨学生としての資格を失ったとき
- (10) 前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

(奨学金の辞退)

第13条 奨学生は、いつでも在学学校長を経て奨学金の辞退を申し出ることができる。

第3章 奨学生の指導

(奨学生の指導)

第14条 奨学生の資質の向上を図るため、学業成績及び生活状況に応ずる適切な指導・助言を行うものとする。

第4章 補 則

(実施細目)

第15条 この規程の実施について必要な事項は、別に定める。

付 則

この規程は、令和3年1月18日から施行する。

2022年度 公益財団法人国土育英会 奨学生願書（日本人向け）

記入日： 年 月 日

ふりがな	(姓)	(名)	性別	写真			
氏名							
生年月日	年 月 日 (満 歳)						
研究学科等 課程	大学院	研究科	専攻 年				
	大学	学部	学科 年				
本人住所	〒 - 自宅・学寮・下宿・その他						
電話番号		携帯電話番号					
メールアドレス		携帯メールアドレス					
家族住所	〒 - 電話番号						
家族構成	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先(役職名)・ 在学名(学年)	年収・税込	死亡の時
	父					万円	年
	母					万円	年
	本人					万円	
						万円	
						万円	
収入・支出	収入(月額)		支出(月額)		授業料(年額)		
	仕送り (月額)	円	住宅費 (月額)	円	本来の授業料 (年額)	万円	
	アルバイト (月額)	円	食費・光熱費 (月額)	円	授業料免除額 (年額)	万円	
	他の奨学金 (月額)	円	書籍費・学用品等 (月額)	円	自己負担 授業料(年額)	万円	
	その他 補助金(月額)	円	その他(通信費・交 通費 他)(月額)	円	特記事項		
収入合計 (月額)	円	支出合計 (月額)	円				
学歴 (高校以上) 及び職歴 (新しい順に 記入)	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
	年 月						
趣味・特技			資格・賞罰				
スポーツ等 (学業以外) での実績							

応募の動機	
将来の ビジョン (学業、仕事 などにつ いて)	<p>たとえば、次のようなことを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○奨学金を受け取って、それをどのように学業に生かしていきたいか ○大学又は大学院を卒業した後、どのようなキャリアを積みみたいか。どのような仕事につきたいか。 ○学業や仕事の経験を積んだ結果、将来どのような自分になりたいか。どのように地域や社会に貢献したいか。など

奨学生募集における個人情報の取り扱いについて
 1.当財団は、奨学生応募者の個人情報を当財団の奨学金の募集、選考、採用の目的以外には使用しません。
 2.当財団では応募者の個人情報を以下に該当する場合を除き第三者に開示しません。
 (1)応募者個人の同意がある場合 (2)法令に基づく場合
 3.当財団が取得した個人情報については厳重に管理し紛失、改ざん及び漏洩等の適切な防止策を講じます。

年 月 日

殿

筑波大学長
永田 恭介

推薦書

下記の者を、貴奨学生として適当と認め推薦いたします。

記

所属	筑波大学	群	学類	研究群	年次
氏名					

推薦所見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

指導教員等	所属	氏名	印
-------	----	----	---

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次																		
		_____課程					_____大学院					_____研究群 _____年次								
	学籍番号										性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)						
	フリガナ												家族住所	〒 _____ TEL (_____)						
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称				給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額								
		父				年					万円	万円								
		母					年					万円	万円							
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)																		
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)																		
							年					万円	万円							
							年					万円	万円							
							年					万円	万円							
							年					万円	万円							
	別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別		通学別	控 除 額									
本人					筑波大学	国立			※自 宅 自 宅外	万円										
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円										
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円										
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円										
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無																	
	障害者がある世帯		※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()							万円									
	その他																			
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定													
	アルバイト		月額 (千円) 内容 (_____)																	
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)				総収入金額	① 万円												
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)				必要経費	② 万円												
	その他の収入		月額 (千円) 内容 (_____)				特別控除額	③ 万円												
						総所得金額	④=①-②-③ 万円													
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人									
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円									
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100										

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。